



幼稚園「親子文庫」。借りる順番を待つ園児たち。みんな絵本が大好きです。

本の世界へとびこもう

～文字から広がる想像力～

これから秋にかけては、気持ちも落ち着いているな事に興ずることが出来る季節です。そこで今回は「読書」について、周りを取り巻く状況も含めて考えてみましょう。

小説やエッセイなど、文字の世界に入っていくことでいろいろな感情がわきあがってきたり、専門書や入門書などいろいろな知識や情報を得ることが出来ます。

しかし、日々の生活の中で読書をする時間が少なくなっているのが現状のようです。

マンガや雑誌も いいけれど…

書店に足を運んでみるとマンガや雑誌などの種類、冊数の多さに驚かされます。

マンガは時代の要請により質や形態も変わってきたようです。近年では「名作」と呼ばれ再版されている作品も多数あります。



発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250)38-2234
FAX (0250)38-5210
編集 公民館報編集委員会

特に、故・石ノ森章太郎氏の「まんが日本史」は大きな評価を得ています。

マンガに関するイベントも各地で開催され、一つの文化として定着した感があります。

また、雑誌は趣味、料理、子育てに至るまで様々なジャンルのものが出版されています。マニユアル的なことから最新情報、新商品の紹介まで内容豊富で短い時間で自分の知りたいことを得ることが出来ます。

しかし、マンガ・雑誌などでも青少年に悪い影響を与えるものや、まちがった知識や知恵、誇大な広告などを掲載しているものも少なくありません。

映像文化の浸透

テレビやビデオなど、映像文化は生活の中に大きく浸透し、今では家庭の中にテレビやビデオデッキが二、三台はあるというのがあたりまえのようになっています。

映像を楽しむ時間は増え、レンタルビデオを利用することも多くなっています。

そんな時代の流れに乗って他の市町村の図書館では、名作映画や教養・学習ビデオの貸し出しをおこなっている所もあります。

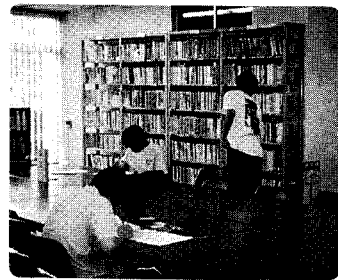
図書利用状況から見る 町民は読書好きか?

公民館では、町の人たちに

ちょこっと一言 (125)

ワールドカップへの日本初出場で一躍全国的に話題となったサッカーであるが、もともとボール一つあれば誰でも楽しめるスポーツである。私も子どもの頃、雪の積もったグラウンドで転がりがながらやった楽しい記憶がある。

そのサッカーがカンボジアではつい最近まで禁止されていたという。理由はどうか。



町民の方々に親しまれている公民館図書室。

広く本に接していただくよう話題の新作を中心に、様々なジャンルの本を揃えるようにしています。

中央公民館図書室は総冊数約一六、〇〇〇冊の貸し出し図書があります。平成九年度の貸し出し数は大人四、五五二冊。子供四、一九五冊。総冊数は八、七四七冊です。

また、ふれあい会館にある「出張文庫」は総冊数約一千冊ですが年々貸し出し総数が増えていますし、小須戸幼稚園にある「親子文庫」は園児たちやその親御さんにも大変好評だと聞いています。

ジャンルでみますと、小説・エッセイなど三十一、四十四歳の女性が多く、時代物は五十歳代以上の男性に多いようです。

小学校低学年の子供たちには児童書、スポーツや趣味の入門書に人気があります。そして親子で絵本を借りに来る姿も多く見受けられます。

貸し出し図書の状況だけを見てみると町民の皆さんは比較的読書好きではないでしょ



文京町二
川瀬 雅司 さん

れ、大人社会の都合で健全な子どもの遊びまで制限されるような事はあってはならないと思う。

地球環境の悪化、経済不安、少年暴力といった様々な問題を抱えている現代社会であるが、子どもたちがのびのびとボールを蹴って遊べる環境づくりは守ってあげたいと思っています。

うか。

今、読書の大切さを考えて

映像文化はますます発展して行くでしょう。受身の映像だけでなく、文字を読むということでも自分の頭の中に素晴らしい映像を創り出してみませんか。

読書を通じて想像力を養う事は人の心を豊かにし、様々な発想の源になります。それが知的好奇心にまでつながれば世界観、人間観が広がります。

第五十三回 県展入選 おめでとーいございます (3)



坂井 スイ さん

初入選できてうれしいです。次回も入選できるようにがんばります。

「良寛詩二首」

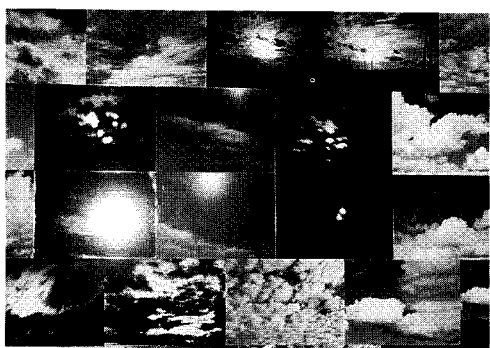


「流れゆく影」



高橋 正子 さん

これからもがんばります。



〈問い合わせ〉 役場保健福祉課(三八一三二)又は、社会福祉協議会(三八一五八〇)

会場	開催日時	参加費
●シルバークロニウムセンター(天川前四)	第一・第三木曜日 午前九時三十分 午後三時	百円
●中央地域コミュニティセンター(白根七丁)	第一木曜日 午前九時三十分 午後三時	百円
●矢代田公会堂	第一木曜日 午前九時三十分 午後三時	二百円
●第五常会集会所	毎月二十四日 午前九時三十分 午後三時	二百円

だくことになりました。今後もお年寄りからお子さん連れの方までどなたでも、気軽においでください。ボランティアさんがお待ちしています。

尚、現在の開催状況は次の通りです。

第8回町民親善ゴルフ大会は、10月4日(日)に開催いたします。詳細は、9月7日(月)の新聞折込みをご覧ください。

公民館活動に寄与 国・県より表彰される

全国公民館大会に於いて
永年勤続者表彰

岡 謙吾さん
(前中央公民館長)



小須戸分館副館長・分館長を歴任し、平成三年度より中央公民館長に就任。生涯学習の中心施設として、乳・幼児教育から青少年・成人教育・文化活動等、町民のニーズに応え、充実した公民館活動を展開されました。

新潟県公民館大会に於いて
永年勤続者表彰

風間源一郎さん
(前公民館運営審議会委員)



二十二年間という長い間、公民館の健全な運用に貢献され、審議会の副議長も歴任されました。また、公民館の諮問機関である図書委員会の委員として読書振興や、図書室の運営の充実に貢献されました。今年三月末に退任された後は、小須戸町消防団長に就任され、町の防災活動などに尽力されています。

7月の ハイポイント



11日「親子チャレンジ教室」誰でも気軽にできるスポーツチャンバラ。まずは基本的な打ち方から。



19日「横水分館運動会」炎天下の中、大いに盛り上がりました。



27日「つくしんぼ」親子そろって水遊び。幼稚園プールで、パジャ、パジャ。

催し物ご案内

子どもアニメ映画会

公民館では、夏休み期間中に、楽しくゆかいなアニメ映画会を開きます。みなさん、お誘い合せの上、どうぞおいで下さい。

中央公民館

期日 八月二十六日(水)

午前十時～十一時三十分

会場 中央公民館・視聴覚室

ふれあい会館

期日 八月二十六日(水)

午後二時～三時三十分

会場 ふれあい会館・研修室

※いずれも入場は無料です。

昆虫・植物の名前を調べ会

夏休みに昆虫、植物を探って標本にしたものの名前を一緒に図鑑などで調べます。

日時 八月二十七日(木)

八月二十八日(金)

午後二時三十分～四時三十分

会場 白根地区理科教育センター

対象 小・中学生

申し込み、問い合わせ先

白根地区理科教育センター

☎051-372-2924

16ミリ映写機

操作認定講習会

ライブラリーの16ミリフィルムを上映するためには「16ミリ映写機操作認定書」が必要で、

この機会に受講し、16ミリ映画を有効に活用しましょう。

日時 九月六日(日)

午前九時～午後四時

会場 中央公民館・視聴覚室

持参する物 筆記用具、印鑑、昼食

参加費 一人五百円(資料代)

申込み 八月三十一日(月)

までに中央公民館へ

(☎三三二-二三三四)

主催 小須戸町中央公民館

◎九月のおもしろ雑学講座

日時 九月十一日(金)

午後七時三十分～九時

講師 渡辺豊さん

テーマ「古里指人形劇講話」

第七回創風会書展

日時 九月二十五日(金)

二十七日(日)

午前九時～午後七時

(最終日は四時まで)

会場 新潟県民会館

一階ギャラリーA・B

※入場無料

主催 創風会

小須戸町大正琴愛好会

にいがた緑のものがたり98イベント参加

八月二十九日(土) 新津会場に於いて、小須戸町大正琴愛好会の皆さんが演奏されます。

時間は、十時三十分から十二時三十分まで。

花が美しく、ハーブがやさしい会場で大正琴の音色を楽しんでみてはいかがでしょうか。

◆ふれあい電話相談

◆九月の相談日

四日(金)・十一日(金)

十八日(金)・二十五日(金)

◆受付時間

午後一時～五時

◆電話番号

三八一三三〇〇

※お名前は、言わなくていいです。

●秘密は、固く守ります。

県立新津南高等学校

「学校開放講座」の開催

今年で五年目を迎える「学校開放講座」が、九月五日(土)より始まります。

日頃学べない専門知識をこの機会に学んでみてはどうでしょうか、多数の方の受講をお待ちしています。

※なお、チラシを配布いたしましたので、申し込み書を持参してください。

(八月二十六日/切です)

第十六回町民俳句大会

作品募集

◎対象 町民及び当町通勤・通学者

◎投句 当期雑誌(未発表)で、三句一組限りとする。

◎締切り 九月十六日(水)厳守

◎投句先 中央公民館及び投句箱

◎投句箱設置場所 矢代田駅・福祉センター

◎発表 十一月一日からの文化祭会場及び発表紙有料

◎表彰 町長賞・議会議長賞・教育長賞・中央公民館館長賞他

◎後援 小須戸町俳句同好会

小須戸町・町議会・教育委員会・中央公民館・文化協会

ご応募、お待ちしております。

シリーズ 「今、子どもたちは」(24)

小須戸っ子祭り

七月四日(土)に小須戸小学校で行われた「小須戸っ子祭り」では、全校の子どもたちが学年に関係なく仲良く活動する姿が見られました。

このお祭りは、様々な学年の子どもで構成された縦割り班で、お互いに関わり合うことを目的に行われました。当日は、高学年の子どもたちが低学年の子どもたちを気遣い、お店でやり方をやさしく教えたり、迷子にならないように手をしっかりと握ったりする姿が見られました。仲の良い友達としか関わり合おうとしない今の子どもたちも、このような経験から誰とでも積極的に付き合えるようになってほしいと考えます。



なお、七月十六日に行われました小須戸小学校公開道徳授業の様子は「道徳だよりNo.5」をごらんください。

YOUNG VOICE 僕は思う 私は思う

僕は、中学校で「あいさつ運動」が行われているので、朝のあいさつをするとうなるかというのを考えてみました。朝、学校へ行く途中、町内の方々が気持ちよくあいさつをしてくれそうです。今、大人同志でも心から通じ合うようなあいさつができない人がたくさんいると思います。そんな中で僕を取り巻く大人の方は、元気にあいさつを下さいます。そして「あなたとこののいちゃんこの頃、おっかしい声であいさつしていくようになったいね。」と、ある方が母に話して下さったということを最近聞きました。

あいさつこそが住みよい町、安心して住める町づくりの第一歩なのではないかと思えます。話は変わりますが、三世代が同居する我が家は、僕と祖母の食事の好み、見たいテレビ番組、暇なときの過ごし方などでかなりのズレがあります。でも、年齢の違い、又、育ってきた環境の違いからズレがあつて当たり前だと思ふし、違いがなかったら気味悪いかもしれません。そして互いの違いを認め合えば、思いやりの心も生まれてくると思えます。

文芸欄

柳 仮名文字の母の筆あと身に堪え 渡辺信子
書の額に人柄はほめる読めない字 保科志枝
誤字目立つ老母の筆は親しまれ 長井武雄
悪筆も人柄透むあたたかさ 小林みのる

川 残鶯の鳴く音深しも護摩堂の 伊藤照溪
木もれ日踏まふ細きそば道
雨あがり水の溜れる裏みちに 鈴木ハナ
雀ら遊ぶ午後ひととき
腰かがめ緑重なる山畑に 大森美恵子
唄は一人歎を打ちいる
紫蘇洗う母の姿を思ひしか 村山浩子
若者は梅の実のりを問ひたり

歌 つながりてひとつになりし谷若葉 高橋みどり
日を孕むカーテンの伊勢物語 吉田素糸
お詣りにしては早足蟻の列 中野太浪
老幹の声なき声や落し文 丸山虚秋
六月の地球が丸く見える丘 間野良遊
梅雨晴れの鳴戸うす潮 刻に会ふ 花沢いせ子
卒寿なる 僧の背筋や 夏衣 山崎しず枝
夏草を 刈れば石佛 紅ほのか 安達キヨノ
早朝の 青田広がり 風やわら 田沢 弘

俳句 俳句